

職業相談・職業評価についての Q&A

Q1 どんな人が受けることが多いですか。

A1 「今まで色々就職はしてきたけれども、うまくいかないことが多く、働き方の見直しを行いたい」、「就職経験がないので、自分に合った働き方や環境がわからない。」、「今在職中だが、仕事を辞めて転職を考えている。転職後の働き方について相談したい。」など求職、在職、休職中問わず、上記のように、障害や病気によって、仕事や働き方に困り感がある方が利用されることが多いです。

Q2 職業評価はどのくらいの期間、時間で行いますか。

A2 日程についてはご本人と担当者との相談のもと決めていきます。1日で終わる場合もあれば、半日を2, 3回に分けて実施することもあります。実施の希望を受けてから、実施した結果をお伝えするまでに概ね1か月程度の期間をいただいております。

Q3 職業評価で適職や就労の可否を判定してもらえますか？

A3 職業評価は、就職を希望される方の仕事上の得意・不得意、仕事をする上で準備できていること、障害の特性等を整理し、自分自身を理解するために実施するものとしています。そのため、具体的な適職（向いている職種名等）の判定はしておらず、また、就職の可否についても判断するものではありません。

Q4 職業評価を受けたほうがよいタイミングはありますか？

A4 職業評価は一般就職（一般求人、障害者求人での就職）を目指す方を対象としています。そのため職業評価を希望するタイミングで、福祉的な就労（就労継続支援 A 型／B 型事業所）の利用を検討されている方については、まずは福祉的な就労で働く経験を積んだ上で、一般就職を目指すタイミングになってからご利用いただくことをご提案しています。また、職業評価を希望するタイミングで主治医から就労の許可を得ていない方や、体調が悪化している方については、まずは医療面でのサポートの元に療養することをご提案しています。

Q5 職業評価の流れを教えてください。

Q5 実施の希望があれば当センターへ電話かメールでお問い合わせをお待ちしております。センターのご利用が初めての方、センターのサービス内容をもっと詳しく知りたい方については、業務説明・所内見学のためのガイダンス（説明会）へのご参加をお勧めしています。ガイダンスへ参加いただくか、個別で来所いただき、まずは初回のご相談を実施します。初回の相談で現状の困り感やセンターのサービスで希望することなどをお伺いし、現時点で

職業評価が効果的と思われる方については、別日で職業評価を実施します。職業評価を実施した後は担当が結果を取りまとめ、ご本人（場合によってご家族、関係機関）に結果をお伝えします。その際に今後の就職のために取り組んでいくと良いことなど、就職のための方向性についてご提案します（職業リハビリテーション計画）。

Q6 職業評価を受けた後はどうなりますか？

A6 職業評価を受けた後は職業評価の結果を参考にハローワークと相談しながら求職活動を引き続き行っていく方もいれば、就職のための課題を整えるために当センターの就労前の準備プログラムである職業準備支援を受講する方、長期的に就労前の準備を整えたほうが良い方には他の機関の訓練（就労移行支援事業所等）を行う等、ご本人の状況によってさまざまな選択肢をご提案します。ご提案のもと、就職活動の方向性をご本人に検討いただいています。